



キャリアアップMOT(CUMOT) サービスイノベーション集中コース 受講生募集のご案内 ～オンライン講義形式で全国より受講可能～ 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 実施

説明会はインターネット配信を
予定しています 視聴方法は
裏面「説明会開催」の案内にて

コースの目的

サービスイノベーションとは、サービスの提供者と利用者の共創により新たな価値を生み出す事に関するものであり、サービス産業や製造業を含むすべての企業・組織、及び個人に関するあらゆる質と効率の向上に寄与する活動が含まれます。そこでは特に、ICTなどの先進的な科学技術の利用が大きな意味を持ってきます。本コースでは、「サービスイノベーション論」「プロダクト・サービスデザイン」「サービスデザイン」「サービス工学」など、サービスイノベーションの実現に必要なエッセンスを短期間で集中的に学びます。

コースの特徴

- ・サービスイノベーションの第一線で活躍する研究者や実務家によるカリキュラム
- ・国内でも希少なサービスイノベーション、サービスサイエンスの領域に特化したプログラム
- ・一般的なセミナー形式ではなく、受講者自身も学習課題に取り組み教授陣や受講生同士で相互に議論
- ・土曜開催、Zoomによるオンライン講義形式、学習支援システム提供など、社会人の受講環境に配慮したコース設計



コース担当教員挨拶（教授 日高一義）

本コースではサービスイノベーションに関するエッセンスを1ヶ月で集中的に学んでいただきます。戦後最大の国難ともいえる今回の新型コロナウイルス感染拡大の影響より、現代における私たちの生活、社会・経済活動が如何にサービスに依存しているかが図らずも明らかになりました。この事実からもわかるように、エネルギー、環境、交通、医療、福祉などのSocial Service Systemにおける問題解決とイノベーション、ネットワーク社会における新規サービス・ビジネスの創出、企業におけるサービスの研究開発戦略と実践、製造業におけるサービス化戦略と実践、サービス産業の生産性・質の向上、などサービスイノベーションは今後の日本の経済・社会に大きな影響を与えてくれると考えられます。本コースの受講を基点として、サービスを科学する対象としてとらえ、その生産性と質を向上させ、イノベーションを実現する為の「サービス科学(サイエンス)」の深い理解に立脚した、次世代の社会・経済の発展を実現させる人材が育つことを期待しています。



このような方に受講をお勧めします

サービスイノベーションを担う人材は、業種、職種、役職、年齢、など問いません。組織・個人にとって価値のある新たな Intangible Value を創出することを日々考えている方、実際に業務に取りまわっている方、経営者として組織・個人に関するあらゆる質と効率の向上に寄与する活動に取り組まれている方など、高い問題意識と学習意欲、そして行動力のある方を歓迎します。サービスイノベーションのエッセンスを学ぶコースですので、入門編として学んでみたいという方にお勧めします。

サービスイノベーション分野が対象とする具体例

「エネルギー、環境、交通、医療、福祉などSocial Service Systemにおける問題解決とイノベーション」「企業におけるサービスの研究開発戦略と実践」「サービスのビジネスモデル」「ビッグデータ、クラウド・コンピューティング、IoTなどICTを用いたビジネス」など



2022年度スケジュール ※2023年開講

月日	時間	回	科目	学習形態	担当
2/11 (祝)	13:00~15:00	-	受講ガイダンス	ガイダンス	古俣
	15:10~17:10	1	サービスイノベーション論①サービス科学概論1 サービスイノベーションのパターン/グループ課題1説明	講義	日高
		-	グループワーク、課題1発表準備	自習	-
2/18 (土)	13:00~15:00	2	サービスイノベーション論② グループ課題1発表、サービス科学概論2	発表	日高
	15:10~17:10	3	プロダクト・サービスデザイン① Product-Service Systems	講義	木見田
	17:20~19:20	4	プロダクト・サービスデザイン② 製造業のサービス化を促進する要因と障壁の分析/グループ課題2説明	講義&討議	木見田
		-	グループワーク、課題2発表準備	自習	-
2/25 (土)	13:00~15:00	5	プロダクト・サービスデザイン③ グループ課題2発表	発表&討議	木見田
	15:10~17:10	6	サービスデザイン①サービスの事前期待のマネジメント 事前期待を中心に据えたサービス設計/グループ課題3説明	講義	松井
		-	グループワーク、課題3発表準備	自習	-
3/4 (土)	13:00~15:00	7	サービスデザイン② グループ課題3発表	講義&発表	松井
	15:10~17:10	8	サービス工学① 優れたサービス組織とサービスを生み出す国際標準/グループ課題4説明	講義	原
		-	グループワーク、課題4発表準備	自習	-
3/11 (土)	13:00~15:00	9	サービス工学② グループ課題4発表	発表&討議	原
	15:10~17:10	10	サービス工学③ 優れたサービスづくりとサービス工学	講義&発表	原

講師紹介（環境・社会理工学院 教員）

【サービスイノベーション論】

教授 日高一義 博士(理学)
専門分野 サービスサイエンス、オペレーションズリサーチ、最適化技術、研究開発マネジメント
経歴 日本IBM(株)東京基礎研究所研究部長、北陸先端科学技術大学院大学教授、等を歴任

【プロダクト・サービスデザイン】

非常勤講師 木見田 康治 博士(工学)
(東京大学大学院 工学系研究科 技術経営戦略学専攻 特任講師)
専門分野 設計工学、サービス工学、Product-Service System



【サービスデザイン】

非常勤講師 松井 拓己
(松井サービスコンサルティング 代表)
専門分野 サービスサイエンス、サービスデザイン、サービス改革、サービス開発など



【サービス工学】

原 辰徳 博士(工学)
(東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター 准教授)
専門分野 サービス工学、サービスデザイン、システム工学、データ政策など



サービスイノベーション集中コース

～ウイズコロナ/アフターコロナにおけるサービスイノベーションへ向かって～

受講生の評価

受講アンケート (5段階評価 2021年度修了生の回答実績)
授業の総合的な満足度はどのくらいですか 平均**4.4**
授業で学んだことが今後自分の業務に役立つと考えますか 平均**4.5**

受講者の声

- ・抽象的に捉えられていたサービスがより具体的に理解できました。特にサービスの本質については大変興味 深かったです。また働きながら学習するというスタイルについても学べたと思います。
- ・現在あるサービスを検証する知見を得ることが出来たと思います。
- ・基礎からはじまり、最終的に企業に展開できるような講義となるような段階的な学習だったので、とても学びやすかったです。

受講者所属先の例 (2019～2021年)

旭化成株式会社、株式会社アシックス、味の素株式会社、株式会社コーセー、大正製薬株式会社、有限責任監査法人トーマツ、日本航空株式会社、日本電信電話株式会社、株式会社ブリヂストン、マックス株式会社、株式会社明電舎、森永乳業株式会社、ほか、ベンチャー企業、中小企業、等

- ・サービスに関する科学的アプローチの存在を理解でき、従来経験で理解していたものに対する見方が変わった。
- ・サービス分野の成り立ちや、概念、ものごとの考え方や捉え方について、すっかりしなやかなところがあったのですが、今回の学びによってかなり見えてくるようになりました。今後、自身の仕事に大きなプラスになると思います。
- ・自社サービスを科学的に分析しながら改革し、自社のサービスを表現したい想い、優れたサービスを提供するための事前期待の的を定めていきたい。サービスエクセレンスを意識した社内活動を高めていきたい。

社会人受講生の学習環境

学習形態

セミナーのような一方的な講義だけでなく、講師・受講生によるディスカッション、グループ課題の取り組みなど学習者主体の学習形態になります。そのため、受講人数も限定して実施します。

GMSS(グループ学習支援システム)

CUMOTではグループ学習支援システム(GMSS: Group Memory Support System)を導入しています。インターネットを通してWeb上で意見交換が出来、時間や場所が異なってもグループ内で自由に意見の交換ができます。

グループ課題(テーマ別)

受講期間を通して、4名前後で構成するグループで課題に取り組んでいただきます。学習した内容や受講生同士の知識や経験を活かして、サービスイノベーションに関する課題(テーマ別)に取り組みます。グループ発表では、テーマ別に担当教員がレビューを行い、発表内容について受講生を交えた意見交換を行います。

Zoomによるオンライン配信

Zoomによるオンライン講義形式で、通学による場所の制約はありませんので、全国から受講いただくことが可能です。

募集要項

受講期間

2023年2月11日(土)～3月11日(土)
毎週土曜開催、開始時間等はスケジュール参照してください
※講義のほか、グループ課題の発表などのグループ学習を想定しています
※2/11(土)祝日は、受講ガイダンスを開催予定です

受講対象者

次世代の企業経営を担う人材、組織・個人にとって価値のある新たなサービス(無形財)を創出することが求められる人材

受講場所

Zoomを用いたオンライン受講です。

※オンライン講義の受講に必要な通信環境は受講者にてご用意ください

募集人数

18名(最小開催人数10名)

受講料

99,000円(消費税込)
※お支払い方法については受講認定後に振込みにて手続きをしていただく予定です。お振込み後の受講料の返還はいたしませんのでご了承ください。

申込期間

2022年12月1日(木)～2023年1月19日(木)(締切日必着)
※定員に達した場合、募集を終了します。
※調整が必要で上記期間での対応が難しい場合は、個別に対応いたしますのでメール(cumot-info[at]mot.titech.ac.jp)でご相談ください(～6/18(木))

申込方法

願書に必要な事項をご記入のうえ、下記の住所までお送りください(締切日必着)。
※PDFファイル等、電子ファイルでのご提出も受け付けます(cumot-info[at]mot.titech.ac.jp宛て)
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 CIC910 CUMOT事務局
サービスイノベーション集中コース受講申込担当

受講審査・受講通知

願書をお送りいただいた後、志望理由書等にもとづく書類審査をいたします(申込順審査)。
受講通知についてはメールまたはお電話にてご連絡いたします(後日、受講許可証を通知)。

お問い合わせ

東京工業大学 CUMOT事務局
お問い合わせ先E-mail : cumot-info@mot.titech.ac.jp
※受講についてお問合せがある場合は、メール等にて個別相談にも応じます。

説明会開催(収録動画のインターネット配信)

新型コロナウイルスの感染防止対策として、サービスイノベーション集中コース(2022年度)の説明会をwebで配信いたします。
申込方法 : Webサイト(<https://www.academy.titech.ac.jp/cumot/>)お問い合わせフォームにアクセスし、「サービスイノベーション集中コースについて」を選択し、必要事項を入力のうえ、「問い合わせ内容」で、「説明会視聴希望」としてお送りください。視聴に必要なIDと資料(PDF)をお送りします。メール(cumot-info@mot.titech.ac.jp)でのお申込みも可能です。
詳細および最新情報は、webサイトにてご確認ください。<http://www.academy.titech.ac.jp/cumot/si/index.html>

実施体制

主催 : 東京工業大学社会人アカデミー
事業主体 : 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程
修了認定 : 修了者には東京工業大学社会人アカデミー長名の「修了証書」を交付いたします。評価については、出席状況を含め、コースごとに行います。